



テーマ別  
意見交換

# 『まちづくり協議会の運営を考えよう』

意見交換会では、4つのテーマに分かれ、小グループで話し合いを行いました。地区の現状や抱える課題、まちづくり協議会の運営体制は様々ですが、共感する部分も多かったようです。また、他地区の活動から、今後のまちづくり活動へのヒントを得ることができました。

## テーマ① 担い手確保について

- ・小中学生にボランティアとして関わってもらってはどうか
- ・働きざかりの世代は、地区活動はむずかしいのでは？
- ・女性の参加を促しているが、現状は少ない
- ・役員の仕事や活動内容を見直さなければ、新規の会員獲得は難しいのではないか
- ・会合が楽しいこと、誰でも発言できる雰囲気づくりが重要
- ・地域活動に参加することに、企業も後押ししてほしい



役員の負担軽減  
楽しい雰囲気づくり  
学校や企業との連携強化

## テーマ② 事業の進め方について

- ・過去の事業を踏襲するだけではマンネリ化し参加者が減る
- ・全体会議と部会のバランスを見ながら事業を決める
- ・各団体と町内会の行事のすり合わせが必要
- ・担い手不足のため、事業継続が難しい
- ・役員の入替わりが激しく継続性に問題がある
- ・まちづくり協議会がマネジメントを行えばよい
- ・部会制を敷く



マンネリ打破  
全体のバランス重視  
トータルマネジメント

## テーマ③ 事業の資金（収入と支出）について

- ・事業計画を立て、予算案を作成する
- ・会計ができる人材が必要
- ・企業から協賛金を集めている
- ・部会単位で予算を持っている地区もある
- ・市で一律ではなく、地区特有の問題には特出しの補助金を出してもらいたい
- ・特産物の商品化を行なっている



事業計画と予算案の作成  
会計ができる人材確保、事務局の設置  
補助金制度の活用

## テーマ④ 組織運営について

- ・まちづくり協議会の中で新人研修が必要
- ・協議会会長と区長会長は別にしてほしい
- ・女性も役員になってもらう
- ・構成団体をグループ分けして運営する
- ・長だけに責任や負担を負わせない



男女ともに活躍できる組織づくり  
役員引き継ぎの工夫、研修  
組織の見直し、再編成



## 丘地区



丘地区では、平成29年より『こども安全大会』を実施しています。安全協議会の呼びかけに応えるかたちで、町内会連合会、生涯学習推進会安全教育部、地域安全推進員、交通指導員、丘小PTAなど、ワンチームとなって取り組んでいます。

## 松野地区

歴史かるたガイドブック作成



48枚のかるたに入らなかった史跡等に加え、解説入りのガイドブックを作成



松野地区では、地区内の史跡や伝説の中から48箇所を選定し、平成27年に『松野歴史かるた』を完成させました。松野健康ウォークを歴史かるたコースとして実施、小5,6年生の総合学習「史跡探索」に協力するなど、歴史を活かしたまちづくり活動を進めています。平成31年には、ガイドブックを作成。あわせて身延道を整備しました。

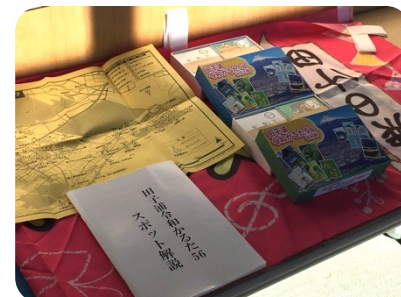
事例表

展示

### ■まちづくり展

2/3~2/14の期間中、市庁舎2Fホールおよび消防庁者連絡通路において、市内26地区の「まちづくり新聞」「協議会ニュース」などを展示しました。

地区ごとに工夫された展示内容に、真剣に見入っている様子が印象的でした。



センター長  
大活躍!

色とりどりのピブスをみにつけているのは各地区のセンター長！意見交換の板書を担当しました。

